

和泉市信太山丘陵市有地保全・活用基本構想(素案) パブリックコメント結果(件数:8件)

募集期間:平成26年10月27日(月)～11月26日(水)

パブリックコメント実施期間中、要綱に沿った市民等のご意見等の提出は8件でした。ご意見を要約し、和泉市信太山丘陵市有地保全・活用基本構想(素案)の該当箇所ごとにまとめ、回答させていただきました。また、1件に複数のご意見がある場合、分割し、それぞれの内容の部分で回答する形をとらせていただいておりますので、ご了承ください。

なお、パブリックコメントの要綱(第7条第4項)に従い、いただきましたご意見等についての個別回答はいたしません。

目次	ページ	パブリックコメント意見(要旨)	意見数	市の考え方(回答)
全般				
		「公園」という言葉に違和感。人も動植物も含めたすべての生命のサンクチュアリ(安全地帯)な場所であることを望む。	1	位置づけは都市公園となりますが、適切な名称は今後決定してまいります。
		アピール方法を検討してほしい。	1	アピール方法については、様々な手法を検討します。
		自然とは野放しにすることなく、木々の伐採や道路の設置など現状の信太山丘陵から大幅に手を加えることを地域の人々に理解いただく必要があり、広報の仕方、現地での看板の設置等を文章化してほしい。	1	広報については、様々な手法を検討します。看板については今後の取り組みの中で決定します。
1.基本構想策定の目的と背景				
1-1. 市街地に残された貴重な信太山の自然環境				
	1	信太山丘陵は広く、このうちの16haが市有地であることが分かるように図示・写真・鳥瞰図により示して欲しい。	1	信太山丘陵全体と、市有地が分かるように図示いたします。
1-2. 基本構想の目的				
1-3. 計画対象地の基礎情報				
1-4. 基本構想策定に至る経緯				
1-5. 和泉市信太山丘陵市有地保全活用方針(案)〈答申〉				
	4	「市民の憩いの場」だと焼肉をしている姿が浮かぶので、<市民の休息・リフレッシュの場、一人になる・思索の場>がイメージできる表現にできないか。	1	本項は平成24年度に答申された「和泉市信太山丘陵市有地保全活用方針(案)」の抜粋であるため、現状とさせていただきます。
	6	信太山丘陵は大阪層群(約40～50万年前)の地史をもっており、この歴史性を理念に表現できないか。	1	
	7	公民協働の意味が分かりにくいので明確にしてほしい。	1	
1-6. 検討体制				
1-7. 開園までの事業スケジュール				
	10	第1期エリア開園まで長い。1～2年後から開放すべき。	1	公園開園までのスケジュールについては、必要な手続き上、これ以上短くすることはできないと考えております。しかしながら、公園開園までにも適切な管理を滞らせるものではなく、公民協働による保全活動については引続き実施予定です。
	10	参加者の高齢化・後継者不足が懸念される。全体スケジュールを見直して、数年開園予定を早められないか。	1	
	10	生態系の抱える課題を考えるとできる限り早く整備して、スケジュールをもう少し早められないか。	1	
	10	公園開園が平成36年予定になっているが、もっと早く開園できないか。	1	

和泉市信太山丘陵市有地保全・活用基本構想(素案) パブリックコメント結果(件数:8件)

募集期間:平成26年10月27日(月)～11月26日(水)

パブリックコメント実施期間中、要綱に沿った市民等のご意見等の提出は8件でした。

ご意見を要約し、和泉市信太山丘陵市有地保全・活用基本構想(素案)の該当箇所ごとにまとめ、回答させていただきました。また、1件に複数のご意見がある場合、分割し、それぞれの内容の部分で回答する形をとらせていただいておりますので、ご了承ください。

なお、パブリックコメントの要綱(第7条第4項)に従い、いただきましたご意見等についての個別回答はいたしません。

2.計画対象地の特色				
2-1. 計画対象地周辺の概況				
2-2. 計画対象地の地形地質				
2-3. 土地利用と植生の変遷				
2-4. 埋蔵文化財包蔵地				
3.環境の目標像				
3-1. 計画対象地の生態系				
3-2. 環境の目標像の位置づけ				
3-3. 目標とする自然環境				
	30	一般人にはわかりにくいので、現時点での理想的状態を鳥瞰図などのイラストで表現できないか。	1	当該計画地における公園としての保全・活用の進め方に「アダプティブ・マネジメント(順応的管理)の導入」を図っております。自然の応答は全てを予期できないことを認識した上で保全を行うため、イメージを固定化することは、継続性・柔軟性を持って自然に向き合う上で弊害となる恐れがあります。このため、現時点では34ページから41ページのようなゆるやかな表現が相応しいと考えています。
	31	鶴山台から陰涼寺へ至る道路の西側について、惣ヶ池湿地(大阪みどりのトラスト協会が管理している部分)とあわせて、市民が自由に自然と触れ合える自然公園として整備して、東側は、貴重な植物が自生しているので、現状に近いまま保存してほしい。	1	目指すべき植生像など、これまでワークショップでの議論も踏まえ、現状とさせていただきますが、基本構想に掲げる理念に従い、これらの貴重な動植物を次世代へ継承していくため取り組んでまいります。
3-4. 目標像の達成に向けた保全管理のイメージ				
4.利用構想				
4-1. 利用方針				
	42	誰もが安全に利用できるよう、ランニングは危険なため削除すべきである。	1	安全に配慮しながらも、なるべく様々な活用ができるよう取り組みを進めます。
4-3. 非公開エリアの設定				
5. 施設整備構想				
5-1. 整備のあり方				
	43	整備構想図を三次元映像にして頂けないか。	1	当該計画地における公園としての保全・活用の進め方に「アダプティブ・マネジメント(順応的管理)の導入」を図っております。自然の応答は全てを予期できないことを認識した上で保全を行うため、イメージを固定化することは、継続性・柔軟性を持って自然に向き合う上で弊害となる恐れがあります。このため、現時点では34ページから41ページのようなゆるやかな表現が相応しいと考えています。

和泉市信太山丘陵市有地保全・活用基本構想(素案) パブリックコメント結果(件数:8件)

募集期間:平成26年10月27日(月)～11月26日(水)

パブリックコメント実施期間中、要綱に沿った市民等のご意見等の提出は8件でした。

ご意見を要約し、和泉市信太山丘陵市有地保全・活用基本構想(素案)の該当箇所ごとにまとめ、回答させていただきました。また、1件に複数のご意見がある場合、分割し、それぞれの内容の部分で回答する形をとらせていただいておりますので、ご了承ください。

なお、パブリックコメントの要綱(第7条第4項)に従い、いただきましたご意見等についての個別回答はいたしません。

	43	活動拠点施設候補地はAとすべきである(環境負荷への影響)。	3	今後の検討の参考とさせていただきます。
	43	活動拠点施設候補地はAとすべきである(景観)。	2	
	43	地理的な位置からみるとA案がよさそうに思うがスケジュールを考えるとできるだけ早く決めるべきである。	1	
	43	小学生の団体での利用時を想定すると、惣ヶ池公園のトイレを利用するのではなく、候補地Aにトイレが必要。	1	
	43	トイレは1カ所となるなら候補地Aにすべき。	1	
5-2. 活動拠点施設(パークセンター)				
	44	最低限、糞尿の微生物による分解型のトイレと雷から身を守るための建屋は必要だが、活動拠点(パークセンター)、駐車場は狭いエリアである信太山丘陵に作る必要はない。	1	これまでワークショップでの議論も踏まえ現状どおりといたしますが、自然環境への影響に配慮しながら検討を進めてまいります。
5-3. 園路				
	45	今後の作業や管理のために車両用の周遊道路は必要不可欠だが必要最小限度にし、自然へのダメージの少ない工法としてほしい。歩行者用道路も同様。	1	ご意見は今後の参考とさせていただきます。
	45	市道信太5号線で分離されている地区の通路の渡りについては少々幅広い渡りを作り惣ヶ池湿地側と大野池側の地区とを自然な遊歩道でつなぐことが考えられないか。遊歩道の両側には自然な植栽を行い自然につなぐことにより一体した公園敷地にする工夫があればと思う。	1	
5-4. 広場				
5-5. 便益施設				
5-6. セルフガイダンス機能				
6. 公民協働による事業展開				
6-1. 運営体制のあり方				
6-2. 市民参画				
	49	自然保護団体や地元住民だけでなく、各種団体、学校、企業、組合に公園づくりへの参加を大規模に募る必要がある。	1	ご意見を踏まえて、今後取り組んでまいります。
	49	参加することがしんどいことでなく、可能な人が可能なことで協力し、喜びを感じられる仕組みを考えてほしい。	1	
	49	市民と市は互いに対等の立場で議論し協働作業を行ってほしい。	1	
6-3. 公民協働による展開イメージ				
	50	企画運営会議と公園協議会の性格付けと役割が不明確である。公園協議会が手足となってタダで動かされるだけになってしまうように感じる。	1	ワークショップでも表現について議論がありましたが、企画運営会議と協議会に上下関係は存在しないものです。

和泉市信太山丘陵市有地保全・活用基本構想(素案) パブリックコメント結果(件数:8件)

募集期間:平成26年10月27日(月)~11月26日(水)

パブリックコメント実施期間中、要綱に沿った市民等のご意見等の提出は8件でした。ご意見を要約し、和泉市信太山丘陵市有地保全・活用基本構想(素案)の該当箇所ごとにまとめ、回答させていただきました。また、1件に複数のご意見がある場合、分割し、それぞれの内容の部分で回答する形をとらせていただいておりますので、ご了承ください。

なお、パブリックコメントの要綱(第7条第4項)に従い、いただきましたご意見等についての個別回答はいたしません。

7. 市道信太5号線				
	51	信太5号線の幅員等が一切記載されておらずおかしいのではないかと。	1	ワークショップでの議論を踏まえ、合意形成が図れた「整備方針(2車線かつ片側歩道)と、公園への配慮事項」を示しています。なお、今後、関係者と協議・調整しながら公園計画との整合性を勘案し、具体的な道路計画を策定していきたいと考えております。
	51	地域の念願もあり妥協が必要だが失った自然は再生不可能と認識して事業を考えてほしい。	1	ご意見を踏まえて、今後取り組んでまいります。
8. 周辺地域との連携				
8-1. 近隣施設との連携				
	52	信太山丘陵に隣接している施設(信太の森ふるさと館、信太山青少年野外センター、陸上自衛隊など)や惣ヶ池湿地との連携は、環境教育を推し進めるためにも、必要不可欠。	1	ご意見を踏まえて、今後取り組んでまいります。
8-2. 広域の連携				
	52	16haに拘らず地域を拡張し後世に残すべき。	1	ご意見は今後の参考とさせていただきます。
9. その他課題				
9-1. 今後の保安全管理において想定される課題				
9-2. 惣ヶ池湿地との連携				
9-3. 計画対象地の通過が必要な民地について				